

# きらり

いろいろな作品を製作することで、毎日が楽しいと話される市橋の西田庄司さんをたずねました。

一番の思い出はとお尋ねしたら、平成23年に名古屋市博物館で開かれた「狂言でござる」で自作の能面・4面をお貸し、夫婦で招待を受けたことだと、うれしそうに話されました。



## プロフィール

日本道路公団に入社後、名神高速道路建設にたずさわれ、後に管理部門で総務助役に就任されました。続いて小牧、一宮事務所の所長を勤められ公団退職後は68歳まで公団系列の会社に勤務されました。

## きっかけは何だったんですか？

所長になった時、冠婚葬祭の芳名録で筆がふるえてうまく書けなかった事から書道を始めました。

努力もしましたが、お陰で書道で5段をいただきました。

## どうして絵画や面打ち（彫刻）も始めたんですか

私は好奇心が旺盛なほうで、毛筆だけでは満足できなくなり、最初は天津絵から入り、結構好評だったのをきっかけに水墨画や南画をやり、表装までやるようになりました。その片わら面打ちを始めたんですがもう30年にもなります。



大垣市展 入選作

「ひょうたん」の絵や文字がユニークでとてもいきいきしており、昨年開催された国体では、選手に50個贈られ、その様子を収めた作品が視聴覚コンクールで県知事賞を受賞されました。大変おめでとうございます。

お願いして西田さんの作業場を見せてもらうと、絵画・書と面打ちの部屋は別々で、部屋のなかは所狭しと、材料や道具や作品で作業機の周辺はいっぱいです。

ここからあの意欲的な作品ができるのだなあと感心しました。

玄関に入るとひょうたんの鈴鳴りがすぐ目に入ります。部屋のいたる所に面や絵画・書や掛軸があって、美術館さながらです。

最後に裏庭を流れる川の上のひょうたん棚を見せてもらいなるほどユニーク！と、感心しました。

ゴルフも楽しんでますよと、笑顔で話されました。いつまでもいい作品を！



## 編集後記

東海地方も梅雨明けして、夏本番に突入しました。連日35℃を超える真夏日が続く、熱中症対策には充分に気をつけて、水分、塩分などをこまめに補給する事を心がけ、特に外出時には体温の上昇を防ぐため、日傘や帽子の着用、日陰の利用、こまめな休憩、通気性の良い吸湿速乾の衣服着用が効果的です。

八幡小学校校舎が年内に完成予定で着々と進んでおり、池野駅北口の医療モールも内科医が10月にはオープン予定で進んでおり、町民の方々に住んで安心安全な町づくりに取り組んでいます。

(議会広報編集委員 白井幹夫)



ユニークなひょうたんの表情